

太宰府市短歌ポスト第百二十八期

入選歌(令和七年十一月二十八日)

撰者 竹森祐彦

汗ばんだ千円札を手渡してお守りひとつ弟に買う

東京都 島津 岳大

緑濃き梅の木陰に風涼し万葉の声太宰府にかおる

神奈川県 左近 実智隆

ひっそりと庭の片隅月照の歌碑に佇み往時をしのぶ

福岡市 白井 道義

都督府の礎石の上に遊ぶ子ら案内しつつ見る空ひろし

滋賀県 俵山 友里

秋晴れや異国語飛び交う太宰府路ゆれるのれんは変わることなし

福岡市 富島 京子

草かげにおんぶバツタの宿りいて秋の都府楼たおやかにあり

春日市 甲斐 智朗

小・中学生の部

人混みに押され^{けお}気圧され辿り着く菅公の庭秋風涼し

福岡市 二ノ坂 友仁

大歓迎蟬の鳴声大合唱友と訪れた処暑の太宰府

福岡市 西山 歩那